

## 川口市美術館建設基本構想(案)に対するパブリックコメントの結果について

◆意見募集期間：令和元年7月1日(月)～7月31日(水) ◆意見提出方法：窓口持参、郵送、FAX、電子メール

◆意見提出者数：17名 ◆意見数：38件

No.	主旨	意見の概要	市の考え方	検討結果
1	要望	川口は人口も60万人を超え、昨年には中核市にもなりました。リリアは音楽芸術の殿堂とも言うべき施設として全国的に認知をされており、市外からの誘客も効果的に行っている状況であると思います。しかし、アート作品の発表場所としてのリリアはその知名度、施設内容としても貧弱であります。またアートギャラリーATLIAは施設内容として貧弱であり、企画展をやってはおりますが、何を目的としているのか、何を意図した企画展なのか理解に苦しみます。このような状況の中で美術館を建設することは市民として歓迎することではあります。中途半端な、特にATLIAに毛が生えたような施設を作るのであれば大反対です。かける所にはしっかりとお金をかけた市民が誇りに思えるようなしっかりとした美術館を計画していただきたいと思えます。 基本構想を拝見すると、新しい美術施設として構想しているようですね。人を呼べる施設を地方自治体で作ることは難しいかもしれませんが、是非、新しい目線で市の内外に川口市をPRできるような、しかも、川口の文化度向上に寄与するような施設にして欲しいと考えます。	基本計画では、「本市が所有する多くの寄贈作品を中心に川口市及び周辺地域の文化、歴史、産業等を踏まえた切り口で展示公開するとともに、調査、研究、編纂し次世代に繋げる。」としています。引き続き本市のアートのみならず、文化、歴史、産業を含め市内外に本市をPRできる施設とすべく、検討してまいります。	基本構想(案)のとおりとします。
2	要望	美術館はどこにできるのでしょうか？噂では栄町公民館の跡地にできるような話を耳にしたことがございます。噂のとおり栄町公民館跡地にできるのであればいいのですが、もし、違う場所に作るとしても、川口駅周辺(歩いて5分以内が理想)に作っていただきたいと思えます。市内のどの場所においても川口駅には出ることはできます。市民みんなが気軽に行ける美術館になるよう、市の端につくることだけは避けていただきたいと思えます。	建設地については、美術館に必要とされる床面積等を考慮し、建設コストを含め、多くの方が来館しやすい場所を今後基本計画の中で検討してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
3	要望	川口駅から年寄りでも歩ける距離に作ってください。駅まではバスで行けます。駅から遠いと行けません。バスの乗り換えは面倒で行けません。	建設地については、美術館に必要とされる床面積等を考慮し、建設コストを含め多くの方が来館しやすい場所を今後基本計画の中で検討してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
4	要望	「全く新しい文化・芸術の発信拠点」としているが、それはどのようなものなのか、ピンとこないです。しかし、エンターテインメント性を重視していること、さまざまな表現に対応できる施設とすることなどが盛り込まれており、市がどこまでできるのか楽しみでもあります。立地について何も書かれていませんが、何故書かれていないのか疑問であります。駅からのアクセスを考えた利便性が高いエンターテインメント性を重要視した「全く新しい文化・芸術の発信拠点」であれば、基本構想には賛成である。	基本構想では、美術館に必要とされる機能として、1.美術館機能、2.産業とアートのコーディネート機能、3.新しい表現に対応した多目的ホール機能の3つをコンセプトとしています。特に3については、近年、アートの表現方法として、メディアアートなど映像を使ったアートや、大空間を使ったインスタレーションなど、様々な表現方法に対応した展示室を作ることには、新しい美術施設としては必須であると考えます。「イベント」エリアでは、これらの展示に対応する機能のほか、映画、演劇、音楽コンサート、コンベンション会場、パーティ会場とともにカフェ、若しくはレストランなども併設し、本市に不足している施設を補完できる多目的なエリアとして計画いたします。	基本構想(案)のとおりとします。
5	要望	バブルのような好景気のときに作る施設は、華美になりやすく、無駄が多く使いにくい施設となりがちである。また、現在のような経済状況のときに作る施設は、お金をケチりすぎて、結局半端で使えない施設になりがちである。美術館という性格上、より顕著にこの傾向になりやすいと思われるが、しっかりと議論し、必要とされる機能にはしっかりとお金を使った施設としてほしい。美術館はその市の、あるいは市民のアイデンティティのひとつである。川口の文化度の向上を図るためには、川口の特徴を最大限引き出したこの構想に基づき、市民の誇りとなるような施設としていただきたいと思えます。	建設コスト、運営コストの削減は検討しなければならない課題であると認識しております。基本構想の目的達成のために必要最小限の投資で最大の効果が生まれるよう、今後基本計画策定に向けた中で検討してまいります。	基本構想(案)のとおりとします。

No.	主旨	意見の概要	市の考え方	検討結果
6	要望	川口の文化芸術振興のために美術館を建設することには大賛成であるが、今、市に足りないのは、リリアのような客席を持ったステージである。市民会館を失った今、1000人規模のホールの整備を要望します。構想にある市民ホールで対応できるのであれば、更なるホールの充実を要望します。市民によるコンサート、演劇、発表会などリリアは予約の競争率が高すぎて対応しきれいていません。よろしくお願いします。	基本構想の中では、アート作品の展示のみならず、様々な目的に対応できるよう多目的ホールを整備するものとされています。	基本構想(案)のとおりとします。
7	要望	基本構想では寄贈作品を展示する旨記載があったが、川口市にはどれくらいの寄贈作品があるのか。数だけではなく質も求められるが、美術館の展示に耐える質の作品を所有しているのか。所有しているのであれば、何故、市民に見せないのか。これらの疑問を解決できるだけの作品を既に所有しているのなら、是非、美術館をつくり、そこで展示すべきである。	寄贈作品については、横山大観、錦木清方など日本を代表する日本画や、塗師祥一郎作品など、100点を超える作品を市民共有の財産として保管しています。また、現在も、多くの方から芸術的価値の高い作品のご寄贈の話をいただいているところでございますが、収蔵場所がないことから、お待ちいただいている現状がございます。特に、芸術的価値の高いものほど、害虫対策、遮光、湿度、温度の管理徹底が必要とされます。また、展示環境も整っていないことから、長期展示が困難な状況であります。このようなことから、しっかりとした収蔵庫、展示室を備えた美術施設の建設が望まれているところでございます。	基本構想(案)のとおりとします。
8	要望	博物館は整備しないのでしょうか？川口は古くからの歴史ある街です。川口の成り立ちや歴史的背景を踏まえた文化財の展示などができる博物館の整備も考えて欲しいです。	基本計画では、「本市が所有する多くの寄贈作品を中心に川口市及び周辺地域の文化、歴史、産業等を踏まえた切り口で展示公開するとともに、調査、研究、編纂し次世代に繋げる。」という博物館的な役割も一部担うこととなっています。また、文化財センターとも協力し、展覧会などを企画してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
9-1	要望	川口市美術館建設構想、大いに賛成です。60万都市川口市に相応しい、瀟洒で品の良い美術館を期待します。既存のアトリアでは、新鋭・新進作家の企画を。これから造られる美術館では、歴史的評価の定まった作家の企画といった棲み分けはどうでしょう。	基本構想では、美術館を本市の「文化創造・発信拠点」と位置づけ、アトリアは「教育普及」「市民アートの発表の場」「各種ワークショップ」を主に担う施設として活かすとしています。	基本構想(案)のとおりとします。
9-2	要望	数多ある地方美術館との独自化を図る為、“鑄物の街川口”として、“工業”をメインコンセプトとしたらいかがでしょうか。	基本計画では、「本市が所有する多くの寄贈作品を中心に川口市及び周辺地域の文化、歴史、産業等を踏まえた切り口で展示公開するとともに、調査、研究、編纂し次世代に繋げる。」としています。また、ものづくり産業とアートを融合させる取り組みも行うとしております。工業のみならず、植木をはじめとする農業、サービス業、映像産業等と共に本市のアートを発信する施設となるよう、基本計画の中で検討してまいります。	基本構想(案)のとおりとします。
9-3	要望	産業革命以来の第2次産業をテーマにした美術品を、収集・展示する。こんな美術館は、全国的にも珍しいのではないのでしょうか。何れにしても、中途半端な美術館だけは願い下げです。川口市のランドマークと成り得るような美術品の建設をお願いいたします。	基本計画では、「本市が所有する多くの寄贈作品を中心に川口市及び周辺地域の文化、歴史、産業等を踏まえた切り口で展示公開するとともに、調査、研究、編纂し次世代に繋げる。」としています。また、ものづくり産業とアートを融合させる取り組みも行うとしております。第2次産業工業のみならず、植木など第1次産業、商業など第3次産業等と共に本市のアートを発信する施設となるよう、基本計画の中で検討してまいります。	基本構想(案)のとおりとします。
10-1	要望	議会などであがった「コミュニティ広場及び栄町公民館跡地」を建設地とするように、結論有りきの姿勢を背景に、実質的には進められていませんか？第6回審議会でも、予定地選定を設備等の要件より先に第8回審議会にて扱うべき旨の発言が見られました。候補地検討～選定は、施設要件の検討後とすべきです。建設地「有りき」になってはなりません。また、選定に先立って、候補地周辺住民からの意見聴取とその反映をしっかりとこなうことが肝要です。	建設地については、美術館に必要とされる床面積等を考慮し、建設コストを含め多くの方が来館しやすい場所を今後基本計画の中で検討してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
10-2	要望	さらに、新美術館創立にあたっては、その建設コストだけでなく、運営コストについても精査されたい。管理運営を外注委託するなどして、低コストを目指す手段も当然に考えられていると思うが、委託料などが歳費支出される事から、本当に創立が必要なのか？を真剣に検討されたい。また、人の集まる美術館を目指すなら、優秀な学芸員が不可欠です。潤沢な人件費の目処についても精査されたい。	建設コスト、運営コストの削減は検討しなければならない課題であると認識しております。基本構想の目的達成のために必要最小限の投資で最大の効果が生まれるよう、今後基本計画策定に向けた中で検討してまいります。	基本構想(案)のとおりとします。

No.	主旨	意見の概要	市の考え方	検討結果
11	反対	端的に言ってしまえば、今さら川口市内に凡百な美術館を作る意義は無いと思慮します。無論、収蔵しておく施設が必要であるのなら、建設中の市役所なりに保管庫を設け、時宜をみて、現有のアトリアなどで展示を行えばよいと思います。それよりも、十全に稼働できる鋳物工場を維持し、さらに付随する旋盤などの金属加工などの技術を、子どもたちや、若い人々、さらに、新たな住民となる外国人たちにも伝える施設をお願いします。今後、弱っていく産業基盤を維持するうえでも、必要になることと思います。ご考慮いただければ幸いです。	基本構想では、美術館に必要とされる機能として、1.美術館機能、2.産業とアートのコーディネート機能、3.新しい表現に対応した多目的ホール機能の3つをコンセプトとしています。特に2については、これまで市内産業と市内アートはそれぞれ独立していましたが、これら市内産業とアーティストをつなぎ、新たな価値(商品・作品)を生み出すための交流や共同制作などの企画・推進を行うことを計画しています。また、市内アーティストが生み出す作品をホテル、マンション、店舗、事務所などに売り込むことなど、今までにない「全く新しい文化・芸術の発信拠点」といたしました。新たな美術施設を整備することで、アート、市内産業双方が活性化するよう引き続き基本計画の策定に努めてまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
12	要望	バンドのライブ等、音を出すことはできますか？リリアよりも安い値段でコンサートができるような場所も作って欲しいです。	基本構想の中では、アート作品の展示のみならず、様々な目的に対応できるよう多目的ホールを整備するものとされています。今後、音楽ライブ実施の可能性についても基本計画策定の中で検討してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
13-1	反対	構想にも書かれている通り、「良好な状態で保存・継承できる施設」がないことによって、寄贈の機会損失などの問題があります。そのため、「良好な状態で保存・継承できる施設」の必要性はあるでしょう。しかし、これについて疑問点があります。第一に、既存の施設の活用できないのか。展示においては川口市立アートギャラリー・アトリアや川口総合文化センター・リリアなどの施設がありますが、このような既存の施設を改良して、「良好な状態で保存・継承できる施設」にすることはできないのでしょうか。新しく建設するより既存の施設を改良した場合の方が、費用がかかるのでしょうか。	ご指摘いただいたアトリアですが、サッポロビール株式会社様から市民の皆様の作品発表の施設としてご寄贈いただいた施設であることから、寄贈作品を収蔵・展示するスペースとしてはかなり面積が足りません。また、都市公園法(法律第79号)の制約上、増築は不可能です。リリアにいたっては、利用者が非常に多く利用申請は全て抽選となっており、施設として美術施設を受け入れるキャパシティは残っておりません。費用に関してでございますが、現在、建設費を低減させる方法や制度が多くございますことから、これらの方法を検討するとともに、美術館の新たな建設を検討している次第でございます。	基本構想(案)のとおりとします。
13-2	反対	第二に、交通機関の混雑の点です。仮に「川口市美術館」を建設し完成した場合、多くの人々が訪れるでしょう。ただ、来客者が増えると、周辺の道路や交通機関の混雑を引き起こす可能性があります。現在、ご存じの通り京浜東北線川口駅の混雑はすさまじく、少しでも遅延が発生した場合は改札入場規制が頻繁に起こる状態です。そのような状態にも関わらず、来客者などが加われば、駅のキャパは限界をすぐに迎え、そして超えてしまいます。確かに、文化施設の必要性はあります。しかし、駅の混雑対策をより優先すべきではないでしょうか。	美術館の建設場所につきましては、基本計画を検討する審議会の中でご議論をいただき、検討してまいります。仮にご指摘の川口駅周辺に建設する場合、乗降客数は16万人を超える川口駅の混雑緩和のため、中距離列車の停車など、混雑緩和に向け以前よりJR東日本へ働きかけているところでございます。また、現在までに美術館の営業時間についての議論はされておきませんが、一般的に考えますと、川口駅が混雑する時間帯ではないことが考えられます。川口駅西口駅前に総合文化センターリリアがあり、2000人収容のメインホール、600人収容の音楽ホールなど、かなりの集客がございしますが、やはり通勤時間帯の営業ではないことから混雑は最小限でございします。このような状況を踏まえ、川口駅の混雑も考慮し、基本計画策定に努めてまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
14-1	要望	新しいものなので 大丈夫と思いますが、バリアフリー、ユニバーサルデザインにのっとって建設、運営をお願いします。エスカレーターが設置されるとしたら 横に二人ならぶような幅である必要はないと思います。横二人だと 駅の様子を見ていると 追い越して 歩く人がいます。追い越しは 右側で支えたい左側まひの人や杖を使う人にとっては 危険な時もあります。	ご指摘の内容を含め、バリアフリー、ユニバーサルデザインにのっとって基本計画策定に努めて参ります。	基本構想(案)のとおりとします。
14-2	要望	視覚障害の方と横浜美術館などへ行きました。あのように大きな美術館でさえ、触れる作品は外にある彫刻数点で、視覚障害の方が美術を楽しめる環境ではありませんでした。点字や誘導ブロックの表示はもとより、触れることができる工夫をしたものをたくさんお願いします。誘導ブロックは原則黄色となっていて、弱視の方にとっては床との明度の違いは重要です。作品や部屋等とマッチするか問題になるかもしれませんが、障害福祉課と連携し、障害者の団体などと協議し、全国の見本となるような良い方法を検討して採用して下さい。	ご指摘の内容を踏まえ、来館される全ての方が楽しめる美術館となるよう、今後基本計画の策定に努めてまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。



No.	主旨	意見の概要	市の考え方	検討結果
17-1	要望	建物の外観は明るいものにして欲しい。埼玉県立美術館のような外観は暗いイメージがある。	基本構想の中では、建物そのものが川口のアイデンティティを表現できるもとしています。また、外装、内装、トイレ等、デザインの統一、川口の造園庭園技術、鑄造技術等を活かした空間デザインを行うものとさせていただいております。	基本構想(案)のとおりとします。
17-2	要望	美術館は都内にあるような大きなものでなくてよい。	大きさにつきましては、基本構想実現に必要な大きさを今後基本計画策定の中で検討してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
17-3	要望	ハンディのある方に配慮されたハートフルなものにして欲しい。(バリアフリーなど)車椅子・AEDの設置。	バリアフリー、ユニバーサルデザインに則って基本計画策定に努めて参ります。	基本構想(案)のとおりとします。
17-4	要望	常設展示コーナー、子供・大人が自由に手に触れることの出来る展示スペースを設けて欲しい。	今後検討させていただきます。	基本構想(案)のとおりとします。
17-5	要望	ロビーに椅子を設ける。カフェの設置。	基本構想では、「誰もが気軽に立ち寄り、アートに関する情報に触れながら交流するレストランやライブラリーを整備します。」としています。	基本構想(案)のとおりとします。
17-6	要望	交通の便が良い場所。	建設地については、美術館に必要とされる床面積等を考慮し、建設コストを含め多くの方が来館しやすい場所を今後基本計画の中で検討してまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
17-7	要望	有料の展示会を定期的で開催して欲しい。(以前リアで開催した横山大観のような展示会)	今後検討させていただきます。	基本構想(案)のとおりとします。
17-8	要望	川口市内には多くの国の人が多いので日本語以外の外国語表記をした方が良い。	今後検討させていただきます。	基本構想(案)のとおりとします。
17-9	要望	川口市独自のユニークなものを付加し、市外・県外、海外の人にもアピールして素敵な美術館にして欲しい。	基本計画では、「本市が所有する多くの寄贈作品を中心に川口市及び周辺地域の文化、歴史、産業等を踏まえた切り口で展示公開するとともに、調査、研究、編纂し次世代に繋げる。」としています。引き続き本市のアートのみならず、文化、歴史、産業を含め市内外に本市をPRできる施設とすべく、検討してまいります。	基本構想(案)のとおりとします。
17-10	要望	気軽に立ち寄れる、親しみのある、敷居の低い(?)アートの場になり、人々の心にアートの力で少しでも元気をもらえたらいいと思う。	来館される全ての方が楽しめる美術館となるよう、今後基本計画の策定に努めてまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。
17-11	要望	ほっと出来て癒され、来てよかったと、また来館してもらえる美術館を目指して欲しい。	来館される全ての方が楽しめる美術館となるよう、今後基本計画の策定に努めてまいりたいと存じます。	基本構想(案)のとおりとします。